



2023.4.26

No. 175

# 立科町 議会だより

## 目次

|              |       |        |
|--------------|-------|--------|
| 予算審議のポイント    | ..... | P2~3   |
| 予算特別委員会      | ..... | P4~7   |
| 各議員賛否結果      | ..... | P7     |
| 議案審議報告       | ..... | P8     |
| 一般会計予算に関する討論 | ..... | P9     |
| 常任委員会審査報告    | ..... | P10~11 |
| 一般質問         | ..... | P11~15 |
| 臨時議会・編集後記    | ..... | P16    |

虹をよぶ龍

風の子広場

# ポイント



3月14・15日議長を除く議員全員で構成する予算特別委員会を開き、慎重審議した主な議論を紹介します。

新規事業を中心に、4つの重点指針に沿ってまとめました。

## ●安心安全で持続可能な町づくり

### ●庁舎に非常用発電設備 5,200万円は

A 法改正で非常用電源の72時間確保が義務付けられたため設置するもの。停電の際、瞬時に電力を供給出来る装置。燃料は軽油。

Q 設置場所は。

A 役場の東側、職員の駐車スペース3・4台の区画を使って設置したい。

Q 老人福祉センター、体育センターなど広域避難所にも非常用電源確保が必要ではないか。

A 小型発電機などで対応。

### ●気象観測システムとは

..... 51万5千円

A より正確なデータが取れるよう、アメダスとは別に新たに白樺湖畔に設置予定。可搬式できめ細かい予報・判断が可能となる。

### ●防犯灯電気料は足りるか

A 必要が生じた所で早めに補正をする。

Q 今後の高騰の事も考えて補助金を上げるべきでは。

A 電気料の推移も見ながら必要に応じて増額も検討していきたい。



### ●権現の湯のバイオマスボイラーの導入について、その燃料については検討しているか

A 木質チップの活用などを検討している。

Q チップ化などでさらにお金がかかるのでは。間伐材・松くい虫の枯損木などの利用はできないか。

A 研究していく。

### ●川西日赤病院への補助増額は

Q 病院への負担が増えたが、3,750万円

A 令和5～9年、上限 年1億5千万円  
立科町の負担25%。佐久市65%、東御市10%。利用数に応じて。



### ●難病患者通院費は燃料費高騰の影響で不足となっていないか

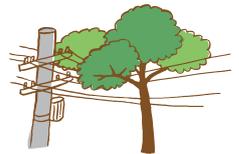
A 単価は今のところ上回った支給となっているが今後高騰した場合は検討して行く。

### ●個人の危険木伐採に補助金を新設

..... 210万円

Q 危険木伐採事業補助金とは

A 家屋やライフラインに危険を及ぼす恐れのある私有林の立木を伐採する場合に、所有者からの申請に対して補助。(補助率1/2、限度額30万円)



## ●環境にやさしい町づくり

### ●猫繁殖制限手術費 50万円は

A メス一頭8千円・40頭分、オス5千円36頭分、年間60～90頭を予定。



### ●生ごみ処理機購入費等 300万円は

A 宿泊施設や地域の住民団体・大型店に導入してもらえるよう推進する。

(補助率1/3、限度額300万円)

Q 利用を進めるためにはどういう計画か。

A 事業所などから申請があり、その事例を見て頂いて、まずは大型店などで実施して頂ければと思う。



令和5年度  
(2023年度)

# 予算審議の

## ●住んでみたい、産み育てたいと思える町づくり

- 出産祝金 昨年初めより増額  
…………… 1,015万円

(第1子5万円、第2子30万円、第3子50万円の祝いを支給する制度)

- Q 昨年645万円が大幅に増額したが。
- A 令和4年度は対象者が増えて補正予算を組んだ。

- 希望者をすべて受け入れる  
保育士増員 …………… 945万5千円

- Q 保育士増員費用を含むか。
- A 0歳児が増えたことで、フルタイムの保育士を3名分計上。クラスを担当する。保育所入所を断らず、保育士を増やすことで対応している。
- Q フルタイムの会計年度職員は、正規職員化をすべきではないか。
- A 家庭の事情もあり、正規化を望まない保育士もいる。



- 中学校で支援学級1クラス増  
…………… 327万1千円

- Q 学校支援講師配置とは。
- A 令和5年度の新入学生徒数は33名で1クラスとなる。また、支援学級の生徒数が7名となり、1クラス増える。講師を配置する。普通級は1クラス。

- 子育て支援センター運営とは  
A 76万9千円 日曜日9～17時児童館で、シルバー人材センターに委託、2名体制。

- Q 児童福祉の専門家や元保育士などの専門家を配置し、子育ての悩みに常時応えられる体制づくりが必要ではないか。
- A 今後検討する。

- 給食費無償化 ……………4,724万円  
保育園副食費…182人分  
小学校給食費…276人分  
中学校給食費…145人分

## ●豊かな資源を活かした町づくり

- 道の駅・農ん喜村の改修は  
A 山と里と地域一体で地域の魅力を高める高付加価値補助金を申請中。採択されたら改修を予定。

- 畜産農家支援は …………… 59万円  
A 輸送費支援で牛152頭、豚1,644頭で計算。燃料費高騰は入れていない。

- クロスカントリーコース整備500万円は  
A 現状のものを活用してしっかり使えるように、平地だけで常に走れる新たなコース確保(800m)を検討した。
- Q これまで豪雨などで洗掘されたが、土質や工法などでの工夫はあるか。
- A 今度は土入れを考えている。
- Q 傾斜部はそのままか。シャワー室・更衣室はどうか。料金徴収は。
- A そこまでは整備の考えはない。

- Q 「健康とスポーツの拠点」とするなら、総合的な計画が必要だが。未整備のコースを放っておいて平地だけ提供することは考えられないが。
- A 傾斜部は整備しきれない。平地の有効活用を考えた。



- 移住者向け長期滞在住宅整備費の増加は …………… 1,639万円  
Q 昨年より費用が増加しているが。
- A DIYで整備。近年の物価値上がりにより快適性の高い住宅提供のため。

- 索道事業 スキー場整備等に係る調査500万円とは  
A ゴンドラリフトが一番古くて昭和60年に建設。リフト更新調査など、今後の在り方について総合判断をするための調査。



# 予算特別委員会

令和5年度一般会計及び7特別会計の審査を行った。

## 総務課

### ●歳出

- 問** 庁舎管理経費の電気料571万8千円に対して施設ごとに電気料予算の割合にばらつきがあるが、その理由は。
- 答** 実績の推移を見ながら計上した。庁舎は令和4年度に照明機器をLED化したことで電気料削減。そのため割合が低くなっている。
- 問** 非常用発電設備整備事業5200万の内容は。
- 答** 災害があった時に防犯対策本部になる庁舎としての継続性を図るため、防災減災事業債を使って整備を行う。停電の際、瞬時に電力を供給出来る装置。950リッターの燃料槽を持ち、一機一日として計三機、三日間供給出来るものとして設置する。
- 問** 設置場所は。
- 答** 想定として役場の東側、職員駐車場のスペース3、4台区の

**問** 画を使って設置したい。修繕料520万の内容は。

**答** 地下に灯油タンクがあり、内壁が経年により劣化してきている。消防法に基づき修繕が必要で176万1千円。他に主なものとしてコンピュータ室等の空調設備の改修120万の他、緊急修繕も見込んでいる。

**問** この修繕で向こう何年耐えられるのか。

**答** 灯油地下タンクは40年ほど、空調設備は10年程度。

**問** 気象観測設置事業の内容は。

**答** 町の中に現在設置されているアメダスとは別に町独自で設置したい。リアルタイムで雨や風の状況を得ることにより、町として災害時に適切な動きが出来るようにしたい。ポテカ（アプリ）をインストールすることで誰でも情報を得る事が出来る。

**問** ホームページや「たてしなび」に連動出来るのか。

**答** 連動は難しいと考えている。

**問** 既にオクレンジャーなどあるが、今後事業の度に別々にアプリを入れていかなければならないのか。

**答** 色々な所から情報をとらなければならぬ事がないように、情報集約出来る手段もこれから検討していきたい。

**問** 防犯灯電気料が昨年と変わらない理由は。

**答** 必要が生じた所で早めに補正をかけていく。

**問** 今後の高騰の事も考えて補助金を上げるべきでは。

**答** 電気料の推移も見ながら必要に応じて増額も検討していきたい。

## 企画課

**問** 「たてしなび」への広告掲載は考えているのか。

**答** 広告については、今後検討していく。

**問** テレワーク推進事業で、予算額に対して、収入は十分にあるのか。

**答** 去年から20名近く住民ワーカーが増加し、年間2千万円強の業務収入がある。

**問** 委託料の内訳は。

**答** 住民ワーカーを育成するための研修業務の委託が大半を占める。

**問** 移住者向け長期滞在住宅整備事業が昨年度予算に比べて増加しているがなぜか。

**答** 近年の物価値上がりに対応するため。また、より快適性の高い住宅を提供して移住促進を図るため、必要な工事内容を計上している。

**問** 権現の湯のバイオマスボイラーの導入について、その燃料については検討しているか。

**答** 木質チップの活用などを検討している。

## 町民課

**問** 難病患者通院費は燃料費高騰の影響で不足となっていないか。

**答** 計算上、単価は今のところ上回った支給となつているが、今後更に高騰となった場合は支給額を検討して行く。

**問** 「第9次立科町障がい者福祉計画・第7期立科町障がい福祉計画・第3期立科町障がい福祉計画」の予算が2万5千円と他事業に比べ著しく少ない理由は。

**答** 業務量が多いが委託に出さず、アンケート調査等職員が直接担っており、予算は印刷に要する紙代のみである。委託に出した場合、300万円程の予算を要する。前回の計画も

職員が作成した。障がい者の要望等を把握し事業を進めて行くが、更に専門性が求められ不足する部分があれば、次回計画には委託も検討して行く。

**問** 高齢者共同住宅「あんしん」利用者の現状は。

**答** ハートフルケアたてしなに管理委託をしている。要介護認定3未満の施設に入れない方や、独居のお年寄で生活が大変な方が入居できる。定員は8名である。待機者は何人かいるが、いまのところ増設の予定はない。

## 産業振興課

**問** 農業委員会運営経費の増の理由は。

**答** 農業委員会改選後に、先進地研修を行う。また、農地パトロール用として、試験的にタブレットを3台導入する。

**問** 農業振興公社の補助金増は。

**答** 落花生栽培の労賃、アロニア栽培に借りた用地返却のために整地する重機使用料である。

**問** 有害鳥獣駆除対策協議会貸付金は。

**答** サル檻(おり)1基40万円を増やし2基にする。

**問** 農業次世代人材投資資金、新規就農者育成総合対策事業は。

**答** 継続事業で就農5年目受給5回目1人、就農5年目受給4回目1人。継続相談者1名今年新規就農1名。年齢条件は50歳未満。

**問** 畜産農家支援対策補助金は。

**答** 輸送費支援で牛14頭で計算している。燃料費高騰は考慮していない。

**問** 道の駅管理経費、農ん喜村について改修の計画は。

**答** 高付加価値化補助金を申請中。採択

ここに案内看板がある。



佐久 IC 付近

されたら改修を予定。食堂ホール椅子40脚更新。

**問** 危険木伐採事業補助金とは。

**答** 私有林の危険木を伐採する補助金を新設した。

**問** 防災重点農業用ため池緊急整備事業とは。

**答** 桐原大池地震対策ボーリング調査。工事は3年計画で行う。

**問** 観光協会補助金の内容は。

**答** 職員体制は3名。観光宣伝業務で、冬シーズンのCMの準備をする。事業を半年単位で精査している。

**問** 佐久 IC 等案内看板撤去等工事とは。

**答** 周りの樹木の影響で、看板の効果が薄れている。費用対効果で撤去する。

**問** 辺地対策観光施設整備事業経費の女神湖畔のローポールライトLED化の内容は。

**答** 照明色彩など配慮し16本交換する。

**問** 女神湖公衆トイレ改修の内容は。

**答** トイレ設備交換、床の段差解消、幼児用備品など改修する。

**問** クロスカントリーコース整備の内容は。

**答** 現状のものを活用してしっかり使えるように、平地だけでなく走る新たなコース確保を検討した。

## 建設環境課

**問** 猫繁殖制限手術費50万円は。

**答** メス頭8千円40頭分、オス5千円36頭分。年間60〜90頭を予定している。

**問** 生ごみ処理機購入費等300万円は

**答** 宿泊施設や地域の住民団体・大型店に導入してもらえるよう推進する。

**問** さらにごみ減量化を進めるため、町営住宅などで導入し、自治会やシルバーなどに管理委託をしては。

**答** 自治会なども対象としているので一体で推進していければ。

**問** 利用を進めるためにはどういう計画か。

**答** 事業所などから補助申請があり、その事例を見て頂いて、まずは大型店などで実施してもらえればと思う。



**問** 運搬業務についてはどのようなか。

**答** 一般廃棄物の運搬については町会計年度任用職員4名だけでは対応できないので、シルバー人材センターに補助員を委託している。藜科区の運搬については繁忙期に処理量が増えるので民間に委託している。

**問** グリーンベルトの設置、来年度の予定は。

**答** 町道町古町線80m、茂田井中居線の一部を予定している。

**問** 橋梁長寿命化修繕工事請負費1億219万円の中身は。

**答** 令和4年度に詳細設計した6橋について、老朽化が進んでいるので床版の打ち換えや鉄橋の塗装をし直す。11月から3月までに工事をす。

**問** 子育て支援費、子ども子育て支援事業計画のニーズ調査委託内容は。

**答** 令和7年度からの第3期計画の調査委託料。子どもの視点で、就学前及び就学児童を調査する。

**問** 負担金432万5千円の内容は。

**答** 町とシヨートステイの契約をしている私立軽井沢学園の老朽化による建替え費用の負担金。様々な事情で親が子を養育出来ない時に依頼。

## 教育委員会

**問** 昨年度対象が増え、今年度はそれを反映した。

**答** 保育園の副食費無償、小・中学校の給食費無償化の明細は。保育園3歳児以上280円×115人×222日、未満児380円×67人×222日、他。

**問** 保育所の副食費無償、小・中学校の給食費無償化の明細は。

**答** 保育園3歳児以上280円×115人×222日、未満児380円×67人×222日、他。

**問** 保育所の副食費無償、小・中学校の給食費無償化の明細は。

**答** 小学校285円×276人×205日、他。中学校320円×145人×205日、他。

**問** 保育所の副食費無償、小・中学校の給食費無償化の明細は。

**答** 保育所の増額に保育士増員は含むが。フルタイム会計年度任用職員3名分945万5千円を計上。クラスを担任する。

**問** 電気料が昨年同様だが、高騰分は反映しないのか。

**答** LED化の効果を見込み昨年同様とした。

**問** 伊牟会計年度任用職員は。

**答** 保育講師1名分。パソコンのリース料について。

**問** 生徒用・校務用各35台リースしているが、タブレットが配布され、8月に契約が切れるので返還する。それ以降の費用は発生しない。

**問** 教育振興経費で、中学校支援講師配置とあるが生徒数は。

**答** 33名で1クラスとなる。支援学級が7名で1クラス増加となる。

**問** 文化財保護費の資料館展示物整理委託料とは。

**答** ふるさと交流館等にある文化財を整理し、5年計画で目録を作り、今後の展示保管に役立てる。

**問** 文化財保護費の資料館展示物整理委託料とは。

**答** ふるさと交流館等にある文化財を整理し、5年計画で目録を作り、今後の展示保管に役立てる。

**問** 文化財保護費の資料館展示物整理委託料とは。

**答** ふるさと交流館等にある文化財を整理し、5年計画で目録を作り、今後の展示保管に役立てる。

**問** 文化財保護費の資料館展示物整理委託料とは。

**答** ふるさと交流館等にある文化財を整理し、5年計画で目録を作り、今後の展示保管に役立てる。

**問** 図書室Wi-Fi環境構築事業は。

**答** 県の「デジとしよ信州」の電子書籍に対応するため。タブレットも設置する。



**問** 権現の杜(もり)管理経費、工事請負費の内容は。

**答** 遊具安全点検で、幼児用遊具のバネを使ったものが、使用禁止となり撤去した。障がい者の方も利用出来るインクルーシブ遊具を設置する。

**国民健康保険特別会計**

**問** 新保険料改定による影響は。

**答** 個別の条件によりそれぞれの算定となり、全体として増額となる方54.5%、減額となる方45.5%程度の見込み。

**問** 基金を使って税率を上げないという検討は行なったか。

**答** 長い目で見たとき、ずっと税率を上げないで経過したとき、いつかその反動で急激に税率を上げなければならぬ事態もあり、景気の動向を見ながらその時の状況で判断を行なって行く必要がある。今回はそういった検討がされた中の改定となった。

**後期高齢者医療特別会計**

**問** 前年と比べて一人当たりの金額が減っている理由は。

**答** 試算は県から提示された数値により算定を行なっている。

低所得者には軽減措置もあり、一概に比較できない。また2割負担と

なった方も軽減措置が7月まであり、直ちに増額という事ではない。

**介護保険特別会計**

**問** 保険料が減っている理由は。

**答** 対象者が減っている。全般的にサービス業務が減額となっているのも同様の理由である。

**索道事業特別会計**

**問** 圧雪車6600万円円の更新根拠は。

**答** 圧雪車の稼働は14年。更新の目安時間は8千時間。今シーズンで到達する。購入は、辺地債の活用が出来る。金額は高騰している。

**問** 振動検査の説明を。



振動検査の様子

**答** 将来的に総合的に判断をするための調査。隔年で行っている。搬器ではなく電動機や減速機の調査。

**水道事業会計**

**問** 水道施設の落雷復旧工事費3751万円の内容は。避雷針はないのか。

**答** 耐雷装置はあるが令和3年5月20日に落雷があつて、夢の平配水池の流入流量計・配水流量計と万仁田沢中継ポンプ制御盤・機器が壊れた。また、竜ヶ峰配水池の流入流量計、排水流量計の交換が必要。流量計が高いので高額になる。保険金で補填される。



夢の平配水池

**各議員の賛否結果**

| 議案等の件名                   | 議員名 | 今井健児 | 芝間教男 | 中島健男 | 中村茂弘 | 森澤文王 | 今井清 | 村田桂子 | 榎本真弓 | 森本信明 | 瀧澤壽美雄 | 今井英昭 | 田中三江 | 議決結果 |
|--------------------------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|-------|------|------|------|
| 立科町個人情報保護法施行条例制定         |     | ○    | 欠    | ○    | ○    | ○    | ○   | ■    | ○    | ○    | ○     | ○    | 欠    | 可決   |
| 立科町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定 |     | ○    | 欠    | ○    | ○    | ○    | ○   | ■    | ○    | ○    | ○     | ○    | 欠    | 可決   |
| 令和5年度立科町後期高齢者医療特別会計予算    |     | ○    | 欠    | ○    | ○    | ○    | ○   | ■    | ○    | ○    | ○     | ○    | 欠    | 可決   |
| 令和5年度立科町索道事業特別会計予算       |     | ○    | 欠    | ○    | ○    | ○    | ○   | ■    | ○    | ○    | ○     | ○    | 欠    | 可決   |
| 令和5年度立科町一般会計予算に対する修正案    |     | ○    | 欠    | ○    | ■    | ■    | ○   | ○    | ■    | ○    | ■     | ○    | 欠    | 可決   |
| 令和5年度立科町一般会計予算の修正部分を除く原案 |     | ○    | 欠    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | 欠    | 可決   |

※「○」は賛成 「■」は反対 ※田中議員と芝間議員は最終日欠席。最終日に議長を務めた今井英昭議員は採決に加わりません。  
※これ以外の案件等は全会一致でした。

**全国町村議会議長会から表彰**

田中三江議員と村田桂子議員が、町村議会議員として長年在職し、地域の振興発展に貢献されたことに対し、全国町村議会議長会から「自治功労者表彰」を受賞されました。

3月8日の定例会散会后に伝達式を行いました。

田中議員は15年以上、村田議員は寒川町議会議員を通過して27年以上の在職です。



左から村田桂子議員、田中三江議員

令和5年第1回定例会を3月2日から3月16日までの15日間の会期で開き、条例や補正予算、令和5年度当初予算、同意、請願などについて審議を行った。



◎全会一致で可決・承認 ○賛成多数で可決

|   | 結果 |
|---|----|
| <b>◇ 共同設置する機関の規約変更</b>  |    |
| 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更<br>佐久平環境衛生組合の脱退と、南佐久環境衛生組合が佐久環境衛生組合に名称変更する。   | ◎  |
| <b>◇ 条例の制定2件 一部改正7件</b>   |    |
| <b>立科町個人情報保護法施行条例</b><br>個人情報の保護に関する法律が改正され、これまで、機関ごとに別々の法律や条例で運用されていた個人情報の保護について、改正後の「個人情報の保護に関する法律」が全国共通ルールとして地方公共団体に適用されることになったため、町として必要な事項を定めるために制定 | ○  |
| <b>立科町公文書公開・個人情報保護審査会条例</b><br>個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、情報公開制度と個人情報保護制度の適正かつ公正な運営を確保するため、「立科町公文書公開・個人情報保護審査会」として審査機関を置くために制定                                 | ◎  |
| 立科町行政不服審査関係手数料条例の一部を改正する条例制定  | ◎  |
| 立科町附属機関設置条例の一部を改正する条例制定   | ◎  |
| 立科町消防団条例の一部を改正する条例制定  | ◎  |
| 特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定   | ◎  |
| 立科町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定  | ◎  |
| 立科町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定  | ○  |
| 立科町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定   | ◎  |
| <b>◇ 令和4年度補正予算 8件</b>   |    |
| 一般会計補正予算(第12号)・国民健康保険特別会計補正予算(第2号)・後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)・介護保険特別会計補正予算(第3号)・索道事業特別会計補正予算(第1号)・白樺高原下水道事業特別会計補正予算(第2号)・水道事業会計補正予算(第4号)・下水道事業会計補正予算(第1号)     | ◎  |
| <b>◇ 令和5年度予算 8件</b>   |    |
| 一般会計予算  | 修正 |
| 国民健康保険特別会計予算・介護保険特別会計予算・白樺高原下水道事業特別会計予算・水道事業会計予算・下水道事業会計予算  | ◎  |
| 後期高齢者医療特別会計予算・立科町索道事業特別会計予算   | ○  |
| <b>◇ その他 7件</b>   |    |
| 不能欠損に係る請求権の権利放棄(町有地賃貸料・水道料金・下水道使用料)   | ◎  |
| 蓼科・中尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更   | ◎  |
| 町道路線の認定 西塩沢三葉団地内の道路を町道に認定   | ◎  |
| 町道路線の変更 国道254宇山バイパスに関連し、町道の終点を変更する。   | ◎  |
| 工事請負変更契約の締結<br>令和3年度(線越事業)辺地対策事業町道大門峠線改良工事の契約額74,800千円を78,837千円とする。   | ◎  |
| <b>◇ 同意 3件</b>  |    |
| 固定資産評価審査委員会委員 (中沢邦雄氏の再任)  | ◎  |
| 人権擁護委員 (田口真順氏の再任・田原敦子氏の再任)  | ◎  |
| <b>◇ 議会提出 2件</b>  |    |
| 立科町議会の個人情報の保護に関する条例制定<br>個人情報の保護に関する法律の改正により、議会は同法の適用除外となることから、町議会独自で議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めるもの。   | ◎  |
| 立科町議会委員会条例の一部を改正する条例制定<br>オンライン会議システムを活用した委員会を開会することができるよう改正を行うもの。  | ◎  |
| <b>◇ 請願 1件</b>  |    |
| LPガス料金上昇に対する直接的な負担軽減対策を求める請願書 (地方創生臨時交付金の活用)  | 採択 |

# 討論

令和5年度一般会計では、クロスカントリーコース整備工事請負費500万円を減額し、併せてこの事業の財源である辺地対策事業債を同額減額する修正案が提出されました。

この修正案に対する賛成討論と、修正案に反対の立場での討論が行われました。

## 原案に賛成 (修正案に反対)

### 榎本 真弓 「地域経済活性化への強い引き金」

白樺湖・車山・女神湖は、準高地健康増進エリアとして茅野市・立科町の観光振興の重要な一帯である。その中での白樺高原クロスカントリーコース(クロカン)は、数少ない準高地コースとして高く評価されている。現状を視察した実業団監督は、「準高地が重要である。利用料を払ってでも走りたいコース。」とのこと。

2019年の完成時から練習している団体がクロカン改修を知れば、その情報はいち早くSNSで伝わる。実業団チームの繋がりは大きく、良くなったなら使いたいと観光協会に問い合わせがあったと聞く。高校生や大学生の練習にも広がる。立科町の準高地のクロカンは、突出した魅力がある。利用する実業団チームの合宿は、長期宿泊となるため、コロナで疲弊した観光業や立科町地域経済の活性化に向けた強い引き金となる。

予算特別委員会で提出されたクロスカントリーコース整備事業費500万は、充当率100%交付税措置率80%、辺地対策事業債で賄う有利な起債である。今この時、大きな経済効果をもたらす必要不可欠な予算である。

提出された修正案に反対し、他全ての原案に賛成とする。

### 森澤 文王 「修正する必要が全くない」

クロスカントリーコース整備500万円に削除修正案が提出されているが、修正しない原案に賛成である。

このコースは、白樺湖活性化協議会を通じ茅野市と、この地域を「準高地健康増進エリア」として誘客を図るために作ったものである。今回の予算は準高地トレーニングの場があるとして、今現在も誘客の努力をされている方々がいて、その努力が実り、予約が入って来ている。この予算で迂回路を作る工事で800mコースが利用できるようになる。町長も任期の終わりに初夏からの誘客に問題が起きない様にしたというものである。

予算特別委員会での質疑においても担当課の答弁は、100点満点の内容であった。よって、修正の必要はなく原案に賛成とする。

### 滝澤 寿美雄 「有効活用を評価」

原案に対し賛成の立場で討論する。

先ほど、榎本議員・森沢議員が賛成討論されましたが、わたくしも全く同じ意見である。多くは言わない。

ただ一言発言をさせていただくと、説明が遅かったとか無かったと、またビジョンが無いというような、議員の面子(めんつ)やこだわりより、今ここにある上程予算が町民のためにしっかり役立つのかどうかの審議をしなければならない。

私はこのコースが塩づけにならないためにも原案に賛成する。

## 修正案に賛成

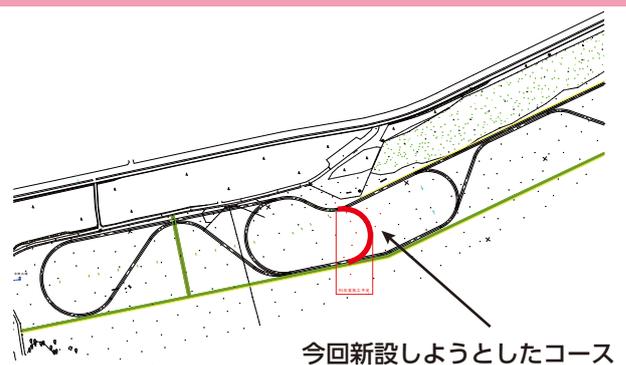
### 今井 健児 「総合的ビジョンを示せ」

白樺高原を舞台にエリアとして捉えたレイクリゾート構想が始まっている中、いよいよ立科町の観光がビジョンをもって計画的に総合的にどう進めていくのか！町としての観光ビジョンが必要であると強く思っている。

先が見えている人もいれば見えてない人もいる中、道しるべが必要であり、それはより多くの、みんなに向かっていけるようにという総合的視点である。これはクロスカントリーコース一つとっても変わらないのではないのか？町として確かなものをつくる事が最終的にプラスになると思っている。その時のそれぞれが考えて行っていくにはその時の対応にならざるを得なく、責任の所在もわからないような、結果、誰も喜ばない事にならないように…未来の方が困らないように。多くの方が携わるからこそ、計画が必要であり、その計画が示されない中では判断として乏しく、この予算執行を町の観光施設として、そして課題が多いからこそ良しとはできない。

### 村田 桂子 「立ち止まりしっかり議論を」

修正案は、「クロスカントリーに新たに800mのコースを新設する工事費500万円を削る提案」である。これまでも幾度となく、豪雨によりコースが掘り崩され未だに使用料金が徴収できない事態となっている。工法の根本的な見直しや、傾斜のきつい部分を今後どうするか、トイレ・シャワー室・受付など管理棟をどうするか、など、全体計画が示されない。立ち止まってしっかり議論してから提案すべきとの修正趣旨に賛同する。



今回新設しようとしたコース

# 総務経済常任委員会

所管 総務課・企画課・産業振興課・会計室・議会事務局  
 委員長／森澤文王 副委員長／芝間教男  
 委員／今井英昭 瀧澤壽美雄 榎本真弓 今井健児

3月10日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。



令和4年度立科町一般会計補正予算(第12号)

歳入

Q 有利な地方債に変更との事だがその内容は、

A 過年度単独災害復旧・現年度単独災害復旧の各事業を充当

A 率100%及び交付税措置70%という有利な緊急自然

A 災害防止対策事業に変更したものである。

歳出

Q 農業振興費の補助金実証試験の内容は、

A 新規事業。JA佐久浅間農業組合が実施する

A シヤインマスカット苗木の購入、棚・トレリス整備などの

A 施設に対する補助金である。

Q 農業振興費の新型コロナウィルス対策補助金の

A 減額が大きい。

Q 農業用燃料に対する補助金であるが支給実績による減額である。

立科町移住促進住宅設置及び管理条例

Q 条例の内容に整合性がとれていない部分がある。また、入居者の資格要件等についても改善を要する部分がある。修正が必要ではないか。

A 本条例については撤回し、修正を加えた上で改めて再提案を行なう。(委員会では全会一致で否決とした。)

立科町個人情報保護法施行条例制定

Q 申し出があれば自衛隊等にも情報は出さないと

A いう自治体もあるが、立科町はどの様なプロセスで誰が責任を持って判断するか。

Q これまでどおり法律の規定にのっとり実施をして行くが、他の自治体の状況や、国・県の動向も注視して行きたい。

Q 個別案件については、それぞれの課で対応をするということなのか、全庁で考えて行くのか。

A それぞれ担当課が、それぞれ法律に基づき取り扱いになる。

## 3月定例会における討論

立科町個人情報保護法施行条例制定  
**守られるか個人情報**

★反対討論 村田 桂子

この条例はこれまでの町条例を廃止し、国の「個人情報保護法」を施行するために提出された。従来の条例に規定されていた「情報収集は本人から」「思想信条・社会的身分が含まれるよう配慮個人情報の収集の制限」「取扱業務以外の目的外に利用してはいけない」「オンラインでの外部提供の禁止」などがなくなり、行政機関が持つ「個人情報の提供・流通」が可能になるよう変えられる。また、自衛隊への個人情報の提供は根拠法が無く、個人の許可も得ていない。オンラインなどで行われ極めて違法性が高い。

令和5年度国民健康保険税条例の改定  
**基金を活用し引き上げストップを**

★反対討論 村田 桂子

この条例は令和9年をめざし資産割をなくし所得割を増やすための税率改定で、来年度は資産割が20%減、所得割10%増となっている。資産割を減らす方向に異議はないが、そうすると資産のない若者などの保険料が負担増となる。影響額は230万円。町の基金残高は1億4200万円。工夫のないままの税率改定は負担増を招く。基金を活用し、痛みを和らげることが行政に求められる。

令和5年度索道事業特別会計予算

**徹底した安全管理こそ**

★反対討論 村田 桂子

来年度は辺地対策事業債活用で国際スキー場の圧雪車6600万円余が予算化。しかし2月15日にクワッドリフトが破損し、乗客が振り落とされる事故が起きた。リフト搬器はすでに33年を経過。他に起きれば未来はない。圧雪車が、耐用時間を超えていることが更新の理由だが、それならばリフト搬器こそ、更新対象にすべき。

来年度はスキー場整備にかかる調査費も生まれ、今後の在り方を判断するとの事だが、それならなおさら圧雪車など買っている時ではない。スキー場存続を掲げるなら、徹底した安全管理が必要。命にかかわる大事故が起きた。それにふさわしい予算となっていない。

# 社会文教建設常任委員会

所 管 町民課・建設環境課・教育委員会

委員長／今井 清 副委員長／中島健男

委 員／森本信明 田中三江 村田桂子 中村茂弘

3月9日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。



- Q** 立科町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定
- Q** 出産育児一時金が42万円から50万円に上がる
- A** 出産費用の平均額の推計値を勘案して国から通知された金額である。
- Q** 50万円より安く出産できた場合も50万円が支払われるか。
- A** 支払われる。
- Q** 令和4年度立科町一般会計補正予算（第12号）
- Q** 高齢者福祉費117万円が減だが、慰労金の支払い実績は。
- A** 在宅で介護されている介護者に支払う。要介護5見込み8名・実績6名、要介護4見込み17名・実績10名、要介護3見込み20名・実績15名
- Q** 予防接種事業費800万円減額の要因は。
- A** 子宮頸がんワクチンで135名を見込んだが

- 実績は52名だった。
- Q** 保育所費のパートタイム会計年度任用職員の報酬200万円増の理由は。
- A** 0歳児が4名増えたことが要因だが、何名分という計算は出来ない。
- Q** 小学校教育経費の扶助費144万5千円の減
- A** は、就学援助制度のことか。そのとおり。給食費の無償化が主な理由である。
- Q** 令和4年度立科町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- Q** 基金を活用して税率の改定は考えたか。
- A** 安定的な財政運営のため所得割を上げた。上げ幅は、資産割の下げ分を補てんするまでは上げていない。
- Q** 令和4年度立科町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- Q** 減額は「介護保険サービスを受ける人が見込みより少なくなった」という事か。
- A** 佐久広域連合の負担金減や実施しなかった事業等の減額で、サービスの減額ではない。

## 町政について問う！ 一般質問

一般質問の文章は質問者の責任で作成しています。



### 質問項目

今定例会では、議員8人が一般質問を行いました。



中島 健男 議員 ……12 ページ

①危険な空き家（特定空家）の対応について

今井 清 議員 ……12 ページ

①社会教育施設の利用のあり方について  
②町民の声に答えているか

森澤 文王 議員 ……13 ページ

①過疎対策事業債について

今井 英昭 議員 ……13 ページ

①観光行政について

榎本 真弓 議員 ……14 ページ

①妊娠期からの伴走型支援の状況は  
②地域猫活動の理解と支援を

村田 桂子 議員 ……14 ページ

①町営住宅の充実改善・増設について  
②多面的機能支払い交付金の積極的活用を

今井 健児 議員 ……15 ページ

①可燃ごみ処理されている使用済み紙おむつについて

芝間 教男 議員 ……15 ページ

①第三者委員会報告のその後について

※太字の質問を掲載。議事録は議会ホームページで閲覧できます。

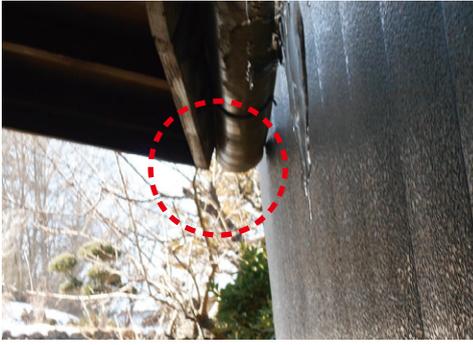


中島 健男  
なかじま たけお

**危険な空家を町で解体・撤去できないか**

**問** 地元住民の方から、2階が崩れ落ちた危険な空家を解体・撤去してほしいと相談を受けた。空家対策協議会長を兼務する町長は、町内21棟の危険な空家を確認したか。

**町長** それぞれの現場を確認し、様々な状態があることが分かった。但し、個人の所有であり対応には限界がある。



隣家のガレージの壁に接触している

**問** 空家対策協議会の開催は。

**建設環境課長** 令和3年度は3回、直近は令和4年3月で対策計画(案)の協議、実務の話は無かった。

**問** 危険な空家を放置しておいて事故等が発生した場合、町の責任は。

**建設環境課長** 民法上からもあくまで所有者の責任となる。

**問** 特措法が改正され、Cランクの空家が、『管理不全空家』となるらしい。123棟あるが対応は。

**建設環境課長** この3月3日閣議決定された。今後の動きを注視する。

**問** この物件は、半壊状態で今にも倒壊しそう。町で撤去してほしい。

**町長** 各種法令で対応する。また、協議会を招集し、委員に協議してもらい、意見を求める。



町道に面していて倒壊で事故が起きるおそれがある



今井 清  
いまい きよひと

**社会教育施設利用のあり方について**

**問** 現在午後1時からとなっている中央公民館の開館時間を午前からにならないか。

**教育長** 町民から休館時間に開館の申し込みがある場合には、柔軟に対応したい。

**問** 公民館使用料の減免について、現在演奏会等を行う際に会費を徴収する場合には、減免できない運用を改め、活動団体を登録制にして減免対象にするべきではないか。

**教育次長** 使用料の減免を希望される団体等については、申込内容を確認し、柔軟に対応していく。

**問** 屋内運動場の使用目的、使用規約については。

**教育次長** 町民の体力向上、健康増進、社会福祉及び教育文化の高揚に寄与することを目的としている。

**町民の声に答えているか**

**問** 過去5年間の陳情・要望件数に

ついては。

**総務課長** 平成30年度が80件、令和元年度が79件、令和2年度が72件、令和3年度が84件、令和4年度が48件となっている。

**問** その後の陳情・要望者への回答状況はどのようになっているか。

**総務課長** すぐに対応できるもの、予算の調整を必要とするもの、説明会や地元関係機関との合意形成を図るものなど、それぞれのケースに応じて対応している。

**問** 地元区民との情報共有のため、陳情・要望をホームページで広く公開するべきでは。

**町長** 町では、町政懇談会の際に回答を覧表にまとめて配布しているため、ホームページでの公開は考えていない。



より利用が望まれる屋内運動場

過疎対策事業債を  
どう活用するか

**問** 当町は、令和4年より「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」により過疎対策事業債が活用できるようになった。この事について町の考え方は。

**町長** 当町は令和2年の国勢調査の結果を受け、人口減少などの要件により、令和4年4月から「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」の過疎地域に追加指定された。

これにより国による各種の支援措置が受けられ、過疎対策事業債も使えるようになった。これを追い風として、移住定住、子育て支援、産業振興、生活環境、保健、福祉、防災、教育などの各施策を加速化させ推し進める事で、第5次立科町振興計画の将来像にある「人と自然が輝く町」を目指していきたいと考えている。

**問** 過疎対策事業債をどの位の金額まで使えろと考えているのか。



森澤 文王  
もりさわ ふみお

**町長** 令和3年度決算では、実質公債費比率7・8%であった。これが18%を超えると起債にあたり国の許可が必要となるが、立科町は大きく下回っている。今後もこういう指標を見極めながら、計画的に適正な起債にあたっていきたいと考えている。

**問** 築50年を越えた中央公民館の建て替えも可能になったが、様々な未来像が浮かぶ中、どの様にしていくか。

**町長** これから町長選を控えており、そこで目指す公約を示していくが、中央公民館と周辺施設については、役場内でプロジェクトチームが検討をしているが、一番は、町民の皆様が、そこに夢を持ってもらえるかではないかと考えている。



建て替えは可能だが、どうするのか

更なる観光地魅力を高めるには  
観光ビジョンが必須ではないか

**問** 観光行政に関する施策について、任期4年間の成果と課題は。

**町長** 老朽化が目立つ宿泊施設の改修に向けて観光庁補助金を活用して民間の宿泊施設や飲食店の高付加価値改修などを行った。

**問** 観光ビジョンについて、創生会議でも提言されているが、中長期の視点から観光の指針は必要ではないか。

**町長** 地域の皆さんも参加する組織を作って、その中で充分検討していきたい。

**結び** 町が責任をもって観光ビジョンを策定する必要がある。策定ができなければ、町が観光に投資してもその効力が分散してしまい、期待薄で終わると考える。

**問** 観光関係施設の指定管理施設について、女神湖センターは観光のシンボルエリアとして更に



今井 英昭  
いまい ひであき

施設の拡充が必要ではないか。  
**町長** 女神湖における施設の配置状況から施設の拡充は現状から難しいと考える。

**結び** 白樺高原周辺エリアでシンボルは女神湖だと考える。集客に繋げらるるようにな女神湖センター周辺の環境整備の工夫が必要だ。



更なる整備を期待する女神湖センター周辺

**問** 立科町都市農村交流施設については、道の駅・蓼科農ん喜村、隣接する耕福館など、一体に指定管理施設として考えるべきではないか。

**町長** 将来的には一本化指定管理が望ましいと考えられるが、過去の状況から現時点では難しい。



榎本 真弓  
えものと まゆみ

妊娠期からの伴走型相談支援の状況は

**問** 国で創設する伴走型相談支援事業と経済的支援の状況及び、立科町は以前より独自の出産子育て事業を行っている。内容を伺う。

**町長** 安心して出産や子育てができるよう事業を行っている。不妊治療費の助成、パパママ教室の開催、町独自の出産祝金を創設。チャイルドシート購入費助成、ブックスタート事業、保育料減免、保育所副食費減免、学校給食費無償化を開始、通学用かばんの支給など。今後もしっかりと伴走し取り組んでいきたい。

**問** アンケート調査の視点と方法は。

**教育次長** 3回行う計画。妊婦の健康状態や生活環境など、面談に行う。

**町民課長** 先進自治体では、現行の紙ベースに付加価値を付けたものになっている。利便性費用対効果など、適切に対応する。

**結び** 体重1000g以下で生まれ、母子手帳の検討。死産・流産の体験をした心のケア。観光地を有する当町らしいお泊り産後ケアの検討を求める。

地域猫活動の理解と支援を

**問** 地域猫活動は動物愛護管理法の趣旨そのものであり、その活動を理解し住民の生活環境を整えることは、行政の役割である。活動の理解と支援を伺う。

**町長** 県の動物愛護管理推進計画に沿って、佐久保健所と共に連携し対応してきた。今定例会に予算を計上した。問題解決の一助になれば幸いである。

**問** 予算付けがされ感謝する。この理由は。

**建設環境課長** 過日、町へ具体的な陳情がされた。これまでのボランティア活動の状況や、社会福祉協議会において（仮称）多頭飼育問題対応連絡協議会が開催され、問題提起された。県の推進計画や保健所と連携し対応すべく予算計上した。



手術した飼い主のいない地域猫(さくら猫)



村田 桂子  
むらた けいこ

町営住宅家賃の設定は適正か 公営住宅法にのっとり設定

**問** 真蒲住宅に住む住民から「少しは貯金をと夜勤を増やしたら、収入超過で家賃が倍以上になった。何のために働いているのか。上がったらやっつけていかれない」と。所得が規定をわずかに超過（1・8万円増）したら家賃が2倍以上（1・84万円から3・95万円）に跳ね上がり、収入の22・4%にもなった。暮らしを支える住宅家賃にすべきでは。

**建設環境課長** 町営住宅の家賃は公営住宅法の規定に沿って、入居者全員の年間所得から、法で定める控除金額を引き、12で割った金額が、15・8万円を超えると収入超過家賃となり、段階が上がる。

**問** 家賃の実態は。月収の何%か。

**建設環境課長** 1万7200円から7万4300円で月収の16%から20・6%。

**問** 立科町は空き家を1万円近辺の安さで借りられる住みやすいつとところ。町営住宅は暮らしを支

えるものでなければならず、圧迫するものではない。公営住宅法では「住宅に困窮する低額所得者に低廉な家賃で賃貸すること」と規定されている。都会基準ではなく、町独自の基準で、例えば、収入の1割程度に抑えるなどの基準が必要ではないか。

**建設環境課長** 公営住宅法に基づいて設定・徴収している。

**問** 家賃減免を申し立てる「意見申し立て」の権利がある。きちんと知らせて、暮らしにくい家賃に減免すべきだが。

**建設環境課長** 家賃の決定の際、異議申立てできる旨は書いてある。減免制度については条例等がホームページに掲載されている。

**問** 立科小学校に子どもを入学させたくて町外から申し込んだが、わずかに収入超過でやむなく民間に。こうした子育て家庭や、規定収入内でも空きがなく入れない子育て家庭のために子育て支援住宅並みになるような家賃補助制度を作り支援しては。

**建設環境課長** 真蒲住宅の今後について、建て替えか修理か検討する予定だが、必要に応じて、家賃補助制度を作るか検討する。

他に、農業・農村の多面的機能支払い交付金の有効活用のために人的配置を求めた。



今井 健児  
いまい けんじ

**問** 今後増加する使用済み紙おむつを変え、「廃棄物」から「燃料」に、循環型社会の推進、そして更なるごみの減量化、資源としての有効活用、環境負荷軽減として立科町として取り組んでどうか。

**町長** 使用済み紙おむつだけを別に、有効利用するとすると、現在の枠組みである佐久地域循環型社会形成推進地域計画及び立科町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の

**答** 現段階では多くの課題がある。提案としてしっかりと受けたまわる

**問** 紙おむつを温泉館の熱源の一つとして活用しては！

見直しや分別方法の変更を伴う場合は町民の皆様のご理解とご協力が必要不可欠であり、検討をするにしても時間をかけて丁寧に進めていかなければと考えている。

**問** 今後進めていくという事で良いか。

**町長** 時間がかかるという事はある。こういったいわゆる再利用、循環型という事は今後の環境問題も含めて必要だと思っている。

今後それぞれの組織、又広域的な部分もあるので、そういった事と町民の皆様、企業のご理解を得ないといけないしご協力も必要である。

こういったところをしっかりとクリアしていかないとすぐにというわけにはいかないが、基本的には今後そういう方向に行かなければいけないのかなと私は思っている。

**結び** SFD燃料化装置は有効な選択肢として研究いただきたい。

提言は今も活かされているか

**問** 平成29年度発生の不祥事事件の折、設置された第三者委員会から受けた提言を理事者等はその様に認識し、現在も業務に取り組んでいるか。

**町長** 行政が担う範囲の拡大・複雑化する中、職員とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築くこと。

また、風通しの良い職場環境の構築により、2度と同じ過ちを繰り返さない環境作りを目指している。

**教育長** 教育・保育の現場でも提言を重く受け止め、継続して職場づくりに取組んでいる。併せて職員の資質向上に関する講習・研修を年間計画に取入れて実施している。

**副町長** 総務省、類似団体別統計では立科町は中間くらいの職員数である。

人事異動に関しては2年に二度異動希望調査を行なうようにし、また、以前よりも余裕を持って内示を行なっている。



芝間 教男  
しばま のりお

**総務課長** 時間外勤務命令・公印、メールの取り扱い等は継続して適正に行なわれており、新人・会計年度任用職員を含む職場内研修は積極的に各種実施をしているところである。

**まとめ** 私は第三者委員会に携わった者の責任として、今後も町に継続してその取り組みを問いかけて行く。

理事者、課長には、職員が「仕事で病んではないか、明るい笑顔で町民と向き合っているか」各部署でご覧頂き、二度と不祥事が発生する事のないよう、常に細かな配慮をなされるようお願いをする。



残業で灯りがともる役場庁舎

## 第1回臨時議会

2月14日に開催

### 一般会計補正予算（第11号）

#### ● 出産・子育て応援給付金

妊娠届提出時に出産応援金、出生届提出時に子育て応援金としてそれぞれ5万円を給付する。

令和4年4月1日以降に妊娠届を提出及び同日以降に出生された児童が対象。2月15日から事業を開始した。



## 第2回臨時議会

3月27日に開催

令和5年度の一般会計補正予算と、移住促進住宅設置及び管理条例の制定を全会一致で可決した。

### 令和5年一般会計補正予算（第1号）

国の補助金等を活用して次の事業費を計上

- ①新型コロナウイルスワクチンの春夏接種及び秋冬接種に必要な接種体制を整える。
- ②役場の窓口で各種使用料・手数料などのキャッシュレス決済を可能にする。
- ③転入・転出等の手続の際、住所・氏名などを繰り返し記載させないようにする「書かせない窓口システム」構築費
- ④町のホームページへの※AIチャットボットの導入経費

⑤令和5年3月から令和6年2月までにマイナンバーカードを取得した町民に、町独自で5,000円相当のポイントを付与する。

⑥地域一体となった観光地の再生のため、道の駅の高付加価値化を計画するための設計委託料

※AIチャットボット。

AI(人工知能)を活用し、手続や制度に対する様々な問い合わせにチャット(対話形式)で自動応答する。

24時間365日いつでも対応。

AIの学習能力によって、徐々に自己学習し、賢くなっていくとされている。

## 議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。

発行／長野県立科町議会 編集／議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL (0267) 88-8413 有線2311 FAX (0267) 56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL <http://www.town.tateshina.nagano.jp>



議会ホームページ

## 編集後記

立科町は、蓼科山2531mから555mの標高差の大きい町です。そのため、弥生3月といえども標高1530mの女神湖一帯は、一夜にして見事な雪景色に変貌。自然が作った雪景色をSNSで発信しました。移住希望者の目に留まりますように。

大阪管区気象台は3月19日、ソメイヨシノが開花したと発表しました。1953年の観測開始以来、2021年と並んで最も早い開花になったそうです。東京都心部の開花は3月14日。全国的に開花時期が平年より早まりました。雪の花、桜の花、どちらも自然の力を実感します。

今期の編集委員会の議会だよりは、今回が最後となりました。これまでご覧いただき、ありがとうございました。

榎本真弓

○今後とも「議会だより」をご愛読ください。

### 議会だより編集委員会

委員長  
副委員長  
委員

村田桂子  
中村茂弘  
榎本真弓  
中島健男  
芝間健男  
今井健児